



市議会から

こんにちは

No.78

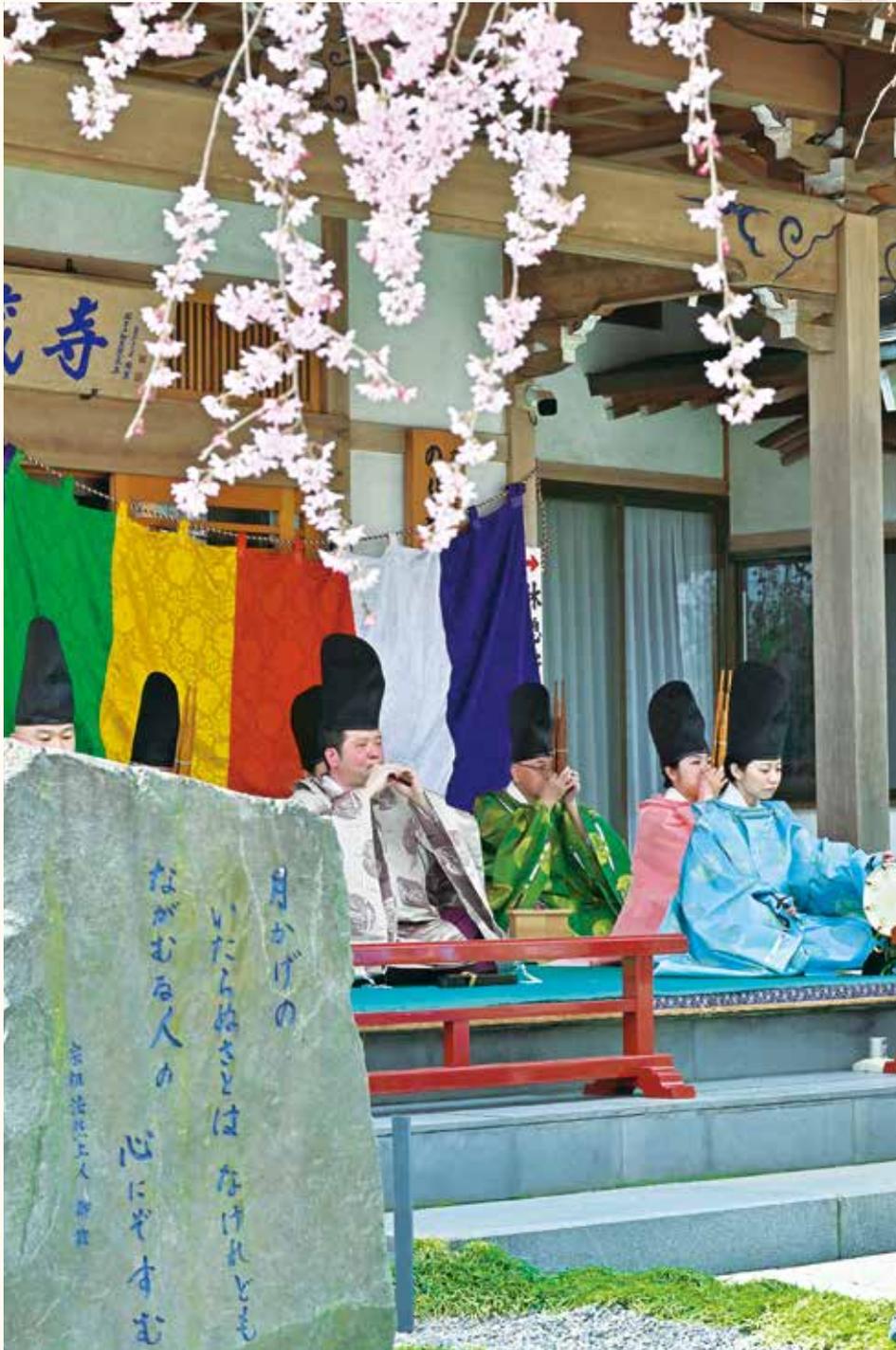
令和7年
4月25日発行

(2月定例会)

癒やしの時

杉大写真講座 高橋郁夫さんの作品

しだれ桜の名所である大桑の法蔵寺では、毎年桜祭りにあわせ雅楽が奉納されます。桜と雅楽のコラボレーション。毎日が忙しく過ぎて周りの変化に気づかない中で、桜の花の下で立ち止まって聞く雅楽のしらべに心が癒やされます。



おもな内容

2月定例会で	
審議した議案と結果……	2
議員別賛否一覧……	3
代表質問……	4
一般質問……	7
令和7年度当初予算審査…	10
委員会活動報告……	12
議会報告会……	15
議会のおもな動き、編集後記 ……	16

2月の定例会で審議した議案と結果

令和7年2月定例会を2月12日から3月24日まで、41日間の会期で開催しました。審議した案件は、議員議案1件、執行部提出議案46件でした。
 なお、一般質問は2月28日、3月4日の2日間にわたり、10名の議員が26項目について行いました。

議案番号	議案名	議決結果
議員議案第1号	日光市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第1号案	令和7年度(2025年度)日光市一般会計予算について	原案可決
第2号案	令和7年度(2025年度)日光市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決
第3号案	令和7年度(2025年度)日光市後期高齢者医療事業特別会計予算について	原案可決
第4号案	令和7年度(2025年度)日光市介護保険事業特別会計予算について	原案可決
第5号案	令和7年度(2025年度)日光市温泉事業特別会計予算について	原案可決
第6号案	令和7年度(2025年度)日光市銅山観光事業特別会計予算について	原案可決
第7号案	令和7年度(2025年度)日光市公共用地先行取得事業特別会計予算について	原案可決
第8号案	令和7年度(2025年度)日光市水道事業会計予算について	原案可決
第9号案	令和7年度(2025年度)日光市下水道事業会計予算について	原案可決
第10号案	市長の専決処分事項の承認について 〔令和6年度(2024年度) 日光市一般会計補正予算(第5号)〕	原案承認
第11号案	教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意
第12号案	日光市議会議員及び日光市長の選挙における選挙公報発行に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第13号案	日光市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第14号案	日光市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

第36号案	日光市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第35号案	日光市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第34号案	日光市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第33号案	日光市職員の特殊勤務手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第32号案	日光市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第31号案	日光市文化会館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第30号案	日光市霧降スケートセンター条例及び日光市細尾ドームリンク条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第29号案	日光市コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第28号案	日光市休養施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第27号案	日光市庚申山荘条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第26号案	日光市足尾銅山観光公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第25号案	日光市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第24号案	日光市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例及び日光市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第23号案	日光市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第22号案	財産の取得について	原案可決
第21号案	〔日光市情報システム標準化対応機器購入事業〕	原案可決
第20号案	〔教師用指導書・教科書購入事業〕	原案可決
第19号案	財産の処分について	原案可決
第18号案	市道路線の廃止について	原案可決
第17号案	〔西ノ湖線 外10路線〕	原案可決
第16号案	市道路線の変更について	原案可決
第15号案	〔中禅寺湖南岸・西岸線 外1路線〕	原案可決
第14号案	〔上栗山辺地〕	原案可決
第13号案	〔川俣辺地〕	原案可決

令和7年2月定例会の議員別賛否一覧

○…賛成 ●…反対
(賛否等がわかれたもののみ掲載)

事 件	第1号	第2号	第3号	第4号	第15号	第16号	第46号
	令和7年度(2025年度)日光市一般会計予算について	令和7年度(2025年度)日光市国民健康保険事業特別会計予算について	令和7年度(2025年度)日光市後期高齢者医療事業特別会計予算について	令和7年度(2025年度)日光市介護保険事業特別会計予算について	日光市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	日光市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	日光市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
採決結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
可：否	22:1	22:1	22:1	22:1	22:1	22:1	22:1
川村 寿利	○	○	○	○	○	○	○
田村 耕作	○	○	○	○	○	○	○
武田 幸雄	○	○	○	○	○	○	○
福田 悦子	●	●	●	●	●	●	●
齊藤 正三	○	○	○	○	○	○	○
山越 享太郎	○	○	○	○	○	○	○
筒井 巖	○	○	○	○	○	○	○
村上 正明	○	○	○	○	○	○	○
高見 尚希	○	○	○	○	○	○	○
荒川 礼子	○	○	○	○	○	○	○
斎藤 久幸	○	○	○	○	○	○	○
和田 公伸	○	○	○	○	○	○	○
川島 憲朗	○	○	○	○	○	○	○
斎藤 伸幸	○	○	○	○	○	○	○
青田 兆史	○	○	○	○	○	○	○
山越 梯一	○	○	○	○	○	○	○
生井 一郎	○	○	○	○	○	○	○
齋藤 文明	議長のため採決には加わらない						
亀井 崇幸	○	○	○	○	○	○	○
嶋田 正法	○	○	○	○	○	○	○
大島 浩	○	○	○	○	○	○	○
斎藤 宏明	○	○	○	○	○	○	○
瀬高 哲雄	○	○	○	○	○	○	○
三好 國章	○	○	○	○	○	○	○

第議案	第議案	第議案	第議案	第議案	第議案	第議案	第議案	第議案	第議案
46号案	45号案	44号案	43号案	42号案	41号案	40号案	39号案	38号案	37号案
日光市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	令和6年度(2024年度)日光市下水道事業会計補正予算(第2号)について	令和6年度(2024年度)日光市水道事業会計補正予算(第2号)について	令和6年度(2024年度)日光市診療所事業特別会計補正予算(第2号)について	令和6年度(2024年度)日光市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	令和6年度(2024年度)日光市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)について	令和6年度(2024年度)日光市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	令和6年度(2024年度)日光市一般会計補正予算(第6号)について	〔日向日地〕 辺地に係る総合整備計画の変更について	〔中小来川辺地〕 辺地に係る総合整備計画の変更について
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決

次回(令和7年6月)日光市議会定例会会期日程予定

【会期 5月28日(水)～6月13日(金) 17日間】

月/日	曜日	会期日程	備 考
5/15	木		陳情締切(17時)
5/28	水	本会議	開会・上程
5/30	金	本会議	委員会付託
6/3	火	付託委員会	議案等審査
6/4	水	付託委員会	議案等審査
6/5	木	付託委員会	議案等審査
6/9	月	本会議	一般質問
6/10	火	本会議	一般質問
6/11	水	本会議	一般質問予備日
6/13	金	本会議	採決・閉会

※この予定は変更となる場合がありますので、議会傍聴等は改めて議会事務局にお問い合わせ願います。

問合せ先:0288-21-5140 (議会事務局直通)

代表質問

2月19日に4つの会派による代表質問を行いました。
掲載内容は、質問と答弁を要約したものです。すべての質問と答弁は後日作成される会議録でご覧いただけます。
会派名の下の2次元コードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、代表質問の録画中継を視聴できます。

日光市議会では、2人以上の議員で構成される会派に属する議員が、市長の「施政方針」に対し、その会派を代表して質問を行うことができますこととしています。
代表質問は事前通告制をとっており、会派の構成人数に応じ質問の持ち時間を定めています。

○持ち時間（執行部答弁を含む）

会派構成人数	2人から	3人	20分
	4人から	7人	30分
	8人から	11人	40分

施政方針全文▶



光和

動画視聴▼



斎藤伸幸議員：まちづくりの基本施策のなかで、「今年、日光杉並木街道の植樹400年の節目の年であることから、栃木県を始め関係機関等と連携し、記念事業に取り組み」とあるが、どのような企画か、また、事業実施により本市の活性化にどのように結び付けていくのか伺う。

粉川昭三市長：令和7年は、植樹400年という節目の年であることから、栃木県、日光東照宮など関係機関と連携し記念ロゴマークを有効活用しながら機運の醸成を図る。具体的には、栃木県において開催が予定されている記念シンポジウムやウォークラリーイベントで連携協力をしていく。また、市では、杉並木の歴史や保護の必要性を伝えていくために、小学生を対象に杉並木見学会を開催するほか、杉並木ガイドブックの作成、歴史民俗資料館でのテーマ展・移動展の開催などを実施していく。これらの事業により、日光杉並木街道の魅力発信や保護意識の高揚を図るとともに、杉並木に愛着を持ち、訪れる人を増やすなど、杉並木を活かしたまちづくりを進めていく。

議員：農林水産業の分野において、「収益性の高い農業生産構造を確立するために、共同利用機器やデジタル技術の導入等を支援するとともに、新たな担い手の確保に向け」とあるが、どのような取組をするのか伺う。

市長：農業生産構造を確立し、収益性を確保するためには、生産コストを下げる取組が必要と捉えている。具体的には、圃場整備などの生産基盤の整備のほか、能力の高い共同利用機器やデジタル技術を活用した新しいスマート農業などが挙げられる。いずれも高額な費用を要することから、農業者の負担を軽減する支援を継続的に行うことで、日光市の魅力的な農産物の生産振興を図る。また、担い手の確保に向けた取組として、農家の後継者や担い手集団に加え、新たに市内に農業参入する企業も支援していく。こうした取組を通じ、将来にわたり持続可能な農業の実現を目指していく。

議員：女性の多様な働き方を支援する「スマート・ワーク・ウーマンプロジェクト」の活動を強化することだが、具体的な内容について伺う。また、本県で初めて開催された政府の国際会議「G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」で日光市の名が全国に発信されたが、当市の人権尊重・男女共同参画社会の更なる醸成に向けた今後の取組について伺う。

市長：「スマート・ワーク・ウーマンプロジェクト」の令和8年度からの自立自走に向け、メンバーのスキルアップを図る必要があることから、令和7年度はデザイン系のインストラクター養成講座と、事務業務系のスキルアップ講座を実施する。加えて、運営体制の強化やメンバーの営業活動支援に取り組むとともに、

他自治体との広域連携を模索し、更なる事業の展開を図っていく。また「G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」のレガシー事業として、「スマート・ワーク・ウーマンプロジェクト」やカジュアル家事M・E・N養成講座など人材育成に向けた事業に取り組むとともに、宇都宮大学と連携した啓発活動や家事分担シートの作成などにより、男女共同参画意識の醸成を図ってきた。男女共同参画や女性活躍に対する意識は少しずつではあるが、確実に変わってきていると実感している。まだまだ改善していかねければならない点は多くあるが、男女共同参画・女性活躍に関する機運を高めていくためには、これまでの取組を着実に粘り強く実施していくことが肝要であると捉えている。

議員：定住人口が減少しても持続可能な日光市を構築するため様々な取組を進めてきたが、人口減少の止まらない現況の中で、全国の自治体では対策に苦慮している。本市の対応、取組について伺う。

市長：人口減少は未婚化、晩婚化に伴う少子化の進展や生産年齢人口の都市部への集中などを背景とする全国的な課題であり、当市においても、定住人口は減少の一途をたどり、合併時から2万人減の7万5000人となっている。このような中、将来にわたり光り輝き続けられるよう、第2次日光市総合計画において、人口減少を当市の最大の課題と位置付け、まちづくり

の重点施策等に取り組むこととした。さらに、後期基本計画では、定住人口を増加に転じることは極めて困難と判断した上で、人口減少の中にあつても活力ある日光市を想像できるように、新たに「関係人口」と「活動人口」を加えた「まちづくり人口」を設定し、3つの重点プロジェクトに取り組んできた。しかし、人口減少は、子育てや教育、産業振興など特定の取組で解決するものではなく、一朝一夕に効果や結果が現れるものではない。地方移住への鍵は「住むところ」と「働くところ」の2点に集約されると捉え、当市の持つ様々な魅力を最大限に生かすことが人口減少対策につながるものと捉えている。このため、次期総合計画においても、引き続き人口減少を解決しなければならぬ最大の課題と位置付け、様々な施策を検討していく。

グループ響

動画視聴▼



大島浩議員：市政経営の基本方針について「この4年間、人口減少、少子高齢化の進行や先行きが不透明な財政状況など、山積する課題に対処することに加え、コロナ禍や物価高騰といった社会的な危機から市民を守り、持続可能な日光市を構築することに腐心してきた。しかしながら、依然として状況は好転せず、厳しい行政経営を余儀なくされている」とあるが、この4年間で好転できなかった理由について伺う。

粉川昭市長：少子高齢化、中山間地域の過疎化や産業活動の担い手不足、厳しい財政状況など、当市が抱える課題の多くは、定住人口の減少に起因するものであり、一部の都市部を除き、全国の地方自治体に共通の問題である。人口減少の原因は、若年女性の転出超過など様々な理由が複雑に関係するため、特定の施策分野に取り組むことで解決できるものではなく、理由も特定できるものではないと捉えている。このため、人口減少を当市の最大の課題として次期総合計画に位置付け、様々な施策に取り組んでいく。

議員：「互助・共助」に関して、市民が主体の地域づくりを推進するため、各地域まちづくり協議会の特性に応じた活動を支援するとあるが、どのような支援を考えているのか伺う。

市長：旧今市市の5地区、旧日光市、旧藤原町、旧足尾町、旧栗山村を単位とした9地域・地区でまちづくり協議会が設立されており、市街地や農村地域、中山間地域などの地理的要因や、地域が抱える課題が異なるなど、それぞれに地域特性がある。そのため、活動経費の支援だけでなく、各地域・地区協議会の特性や成熟度に応じ、まちづくりアドバイザーによる助言や活動計画の作成支援を行うなど、互助・共助による地域づくりの基盤組織として自立自走できるように支援していく。

議員：「学校教育」の分野で、試行的に体育館へスポーツク

ラーを設置するとしているが、スポーツクラーの機能と対象学校の選定について伺う。

市長：体育館における児童生徒の熱中症対策として、効果的かつ部分的に冷却できるスポーツクラーを試行的に導入する。対象校の選定は、学校の規模や地域性を考慮し、小中学校各3校に導入することで、効果を検証していく。

議員：「社会福祉」の分野で、貧困対策として新たに行う中高生の受験料などの助成内容、フードバンクや子ども食堂支援強化の事業内容について伺う。

市長：貧困対策として、ひとり親世帯や非課税世帯等の中高生に対し、高校や大学等を受験する際の模擬試験や入学試験の受験料に対する新たな助成制度を設け、経済的な理由で子どもたちの進路が狭められないよう、生活や学習を支援していく。フードバンクについては、県の補助対象外である燃料費、光熱水費を助成し、事業の安定的な運営を支援していく。こども食堂については、補助事業の対象を学習や遊びの体験などを行う「こども居場所」の開設費等にも拡大し、団体相互の情報交換や市との連携強化のためのネットワーク化を進めていく。

議員：「観光」の分野で、閑散期である冬季の誘客や宿泊客の獲得に向け、アドベンチャーーツーリズム、ナイトタイム・モーニングタイムツアーなど国内外に向けたコンテンツの造成に取り組むとあるが、その内容について

伺う。
市長：当市の観光課題として、首都圏から日帰り圏内であることや、滞在につながるコンテンツが少ないことなどから滞在時間が短く、観光消費につながる点がない点が挙げられる。このため、滞在時間の延長と消費額の拡大に向け、自然体験を活用したコンテンツの提供や、観光消費額が落ち込む夜や朝の時間を活用したツアーを造成する観光事業者を支援し、観光客の宿泊を促進することで、地域経済の活性化を図っていく。

市民フォーラム志向



村上正明議員：「保健・医療」の分野について、過疎により医療体制が衰退する地域に対し、どのような対策を図り、医療提供を確保するのか伺う。

粉川昭一市長：地域医療について、日光、藤原、栗山地域に5つのへき地診療所を開設している。引き続き各診療所の必要な医療機器等の更新を行うとともに、医師の派遣をお願いしている県や指定管理者である関係医療機関等と連携し医療提供体制の確保に努める。また、足尾地域は、足尾双愛病院等を運営する医療法人社団双愛会から、事業を段階的に縮小し、令和8年度末をもって全て廃止するとの方針が示された。このため、足尾地域に必要な医療を引き続き提供できるように、医療ニーズの分析を行い、将来的な変化等を見据えながら、県や関係医療機

関との調整を図り、新たな診療所の開設を目指して準備を進めていく。

議員：「住宅・住環境」の分野について、令和5年12月に空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正により、「空家等管理活用支援法人」が新設された。市と支援法人との連携及び具体的な内容を伺う。また、支援法人に期待できる効果について伺う。

市長：支援法人が公的立場から行政の補完的役割を果たせるよう連携し、空き家所有者に対する適正管理や利活用に向けた啓発セミナー、相談会を開催し、民間の経験や専門的知識を活用した支援を行っていく。また、支援法人と協力する各種専門家が横断的に関わることで、空き家所有者が抱える様々な問題の解決につなげていく。

議員：「防災・危機管理」の分野について、災害や危機に強いまちづくりに向けて、災害時の生活用水を確保するため、民間企業や個人所有の井戸等を活用する仕組みを構築するとある。広域な面積の当市において、災害時の水の確保について検討をしていると思うが、公的な井戸の必要性をどのように考えているか伺う。

市長：昨年1月に発生した能登半島地震では、飲料水のみならず、トイレや洗濯などの生活用水の不足が大きくクローズアップされたことから、災害時における水の確保策を検討することが急務であると認識している。このようなか、広大な市域を有する当市にとって、生活用水の不足

を補うためには、井戸を活用することが有効であると捉えている。しかし、市が設置する公設井戸についての有用性や必要性は十分認識できるものの、場所の選定や設置に時間を要するとともに、多額の費用が必要になるなど課題があるため、まずは即時性や緊急性を考慮し、個人や企業が使用している井戸をあらかじめ登録し、災害時に地域の方に生活用水として提供いただく、災害時協力井戸登録制度の創設を優先して進めていく。

議員：物価高騰対策の取組について「プレミアム付商品券発行事業」や「自治会の防犯灯及び商店街の街路灯の電気料全額助成」のほか「保育園等における第2子の副食費無償化」、「学校給食費の全額助成」を継続することで、物価高騰に苦しむ市民を援助する方針が示されているが、物価高騰は給与とのギャップがあり終わりが見えない。これらの事業は単年度のみと考えていいのか伺う。

市長：昨今の物価高騰は、市財政のみならず、市民の生活に大きな影響を与えている。令和7年度予算では、国からの臨時交付金や物価高騰対策のために備えている基金を活用し、厳しい財政状況の中においても物価高騰対策にしっかりと取り組むこととした。しかし、令和7年度が臨時的な対応であり、令和8年度以降は、市単独により同様の対策を継続していくことは困難だと捉えている。このため、さらなる経常経費の縮減などに

よる財政状況の改善に努めるとともに、国の財政支援措置の動向や物価高騰が与える市民への影響を見極め対応していく。

公明クラブ

動画視聴



嶋田正法議員：令和7年度予算編成は、厳しい財政状況の中、基金を活用し、この難局を乗り越え次期総合計画に繋げる予算としたとある。限られた予算の中で、市民生活の維持や地域の活性化を図るための工夫が求められている現状において、基金の活用は必要な手段と考えるが、持続可能な市政運営を実現するためには、基金に依存しない形での予算確保が求められると考えるが、市長の見解を伺う。

粉川昭二市長：令和7年度予算において、確実に見込まれる歳入予算と市民サービスの低下を招かないための歳出予算の乖離（かいり）を解消するため基金を活用した。また、賃上げや物価高騰は、市税等が増加することが期待されるが、その影響は不透明であり、基金繰入はやむを得ないと捉えている。しかし、基金に頼らない財政運営は、持続可能な日光市の財政基盤の確立に不可欠であり、予算執行において経費圧縮に努め繰入額の削減を図り、令和7年度に予定している「長期財政の収支見通し」の改訂の中で健全化の目標を定め、行財政改革を一層推進していく。

議員：「生涯学習・社会教育」の分野について、自発的かつ意欲的に

学習に取り組む機会を提供するとともに、地域の担い手として活躍できる人材の育成を目指すこととあるが、市が目指す地域の担い手として活躍できる人材とは具体的にどのような人物像か、また、その育成に向けた具体的な取組について伺う。

市長：人材の育成について、自らの資質の向上を図るとともに、自分の良さを活かしながら、より良い社会の実現を目指すための人づくりを目指している。具体的には青少年が社会参加活動などを実践し、自発的にまちづくりに参加する「日光りーだーず」や、地域を知り、地域の人とつながり、日光を好きになることを目的とした「日光学・わがまちきらり発見隊」などを展開していく。

議員：「スポーツ」の分野では、スポーツによる健康増進事業として総合型地域スポーツクラブや市内医療機関と連携し、あらゆる世代に運動の習慣化を促進する事業に取り組むとあるが、具体的な取組について伺う。

市長：スポーツによる健康増進事業について、普段、運動やスポーツをあまりしていない方などを対象に、月2回程度、約半年間の教室を開催し、医療機関による参加者の健康測定や個別の運動指導、また、総合型地域スポーツクラブによる集団運動の指導などを行う。こうした取組により、それぞれの体力に見合った運動機会を提供し、多くの市民の運動習慣化につなげていきたい。

一般質問

一般質問とは、市政全般にわたり、事務の執行状況や方針等について議員が市執行部に質問するもので、定例会ごとに行われます。

2月定例会は、2月28日、3月4日の2日間にわたり10名の議員が26項目の質問を行いました。

なお、日光市議会は、広報紙を含めた情報発信のデジタル化を進めています。これに伴い、広報紙では、質問事項と議員本人による「**ここがポイント**」を掲載することとしました。

議員顔写真下の2次元コードを、スマートフォンのバーコードリーダーで読み取り、その議員の一般質問の録画中継をご覧ください。また、一般質問は会議録で読むことができます。会議録は、市役所、行政センター、図書館などにあります。



日光市議会 中継

検索



ここがポイント



齊藤 正三 議員
(市民フォーラム志向)



- 質問事項
- ①日光市の公金の納付方法について
 - ②空き巣泥棒など「侵入犯罪」について

市民が市に納める税金・使用料金など、口座振替を推進するには!!
答..各行政センターでも一度に申請できる。Web申請でクオカード進呈する。
足尾地域は、空き巣泥棒が多発している。何とか阻止しなければ!!
答..警察と協議を早急に進め、交差点に防犯カメラ設置の方針を示す。



ここがポイント



瀬高 哲雄 議員
(光和)



- 質問事項
- ①教育に関わる各種施策について

今回の一般質問では、給食費無償化について、各種検定の補助について、当市の歴史文化教育について質疑を行いました。子育て世代の代表として、他市に負けない教育環境の充実を目指します。



ここがポイント



高見 尚希 議員
(市民フォーラム志向)



- 質問事項
- ①事業承継に関する支援と移住について
 - ②部活動地域移行について
 - ③下水道について

事業者の引退や廃業が加速度を上げながら市内で散見されています。後継者がいない=廃業では、日光市から事業所がなくなるばかりです。好機到来中の移住施策と合わせて、事業承継を行なうべきである主張を行いました。「移住者と繋ぐ働きかけをしていく」との答弁を頂きました。一件でも繋がることを願います。





齋藤 久幸 議員
(グループ響)



- 質問事項
- ①日光ナンバーについて
 - ②耕作放棄地保全の取組について
 - ③小中学校の不登校について

「日光ナンバー」については、多くの市民・町民の方に交付申請してもらえよう、広報紙・ホームページ等を活用し、PRをしていただきたーいと思います。そのことが、いろいろな振興策に繋がっていくものと考えております。



山越 享太郎 議員
(光和)



- 質問事項
- ①保育施設について
 - ②熱中症対策と公共施設、部活動について



今回は、保育施設に導入した業務支援システム「コドモン」について、小中学生の熱中症対策等についての2点、質問しました。「コドモン」は、保護者や保育士の負担軽減や子どもと向き合う時間が増えるなどの効果が期待できます。今後も子育てしやすい環境整備のため、調査研究をしていきます。



三好 國章 議員



- 質問事項
- ①湯元水処理センターから中宮祠水処理センター全般について



今回の質問は「湯元水処理センターから中宮祠水処理センター全般について」の1件です。湯元水処理センターから中宮祠水処理センターまでパイプラインを整備した場合の概算費用や、世界に誇る奥日光全体の水環境の改善に対する市の考えなどについて質問しました。



福田 悦子 議員
(日本共産党)



- 質問事項
- ①お悔やみコーナーの設置について
 - ②市民参加の防災対策について(女性に配慮した避難所対策と指定緊急避難場所の表示板設置)
 - ③日本のこころのうたミュージアム・船村徹記念館の用途変更について
 - ④特定健診受診率向上について

①お悔やみコーナー設置、②女性に配慮した避難所、③船村徹記念館の用途変更、④特定健診、の4件を質問。お悔やみコーナーの提案は、4年前に引き続き2回目。市民に寄り添う立場で早期の実現を求めました。開館10年、赤字続きの船村徹記念館。今後の用途変更注目です。



嶋田 正法 議員
(公明クラブ)



- 質問事項
- ①子どもの自転車における事故件数や保険加入状況、及び免許制度の導入について
 - ②凶柄入りナンバープレートの普及に向けた取組について
 - ③歳入の確保について

一般質問で「子ども自転車免許」を取り上げ、他市の事故減少実績を紹介し導入を提案しました。答弁では「できるところから実施を検討する」との方針が示され、今後の自転車事故防止対策の推進が期待されます。



荒川 礼子 議員
(公明クラブ)



- 質問事項
- ①子宮頸がん予防対策について
 - ②帯状疱疹ワクチン接種費用助成事業について
 - ③市民の幸福度(ウェルビーイング)向上について

人口減少、少子高齢化が急速に進み、財政悪化など課題が多い日光市だからこそ、今、市民の幸福度を向上するため健康寿命の延伸などの施策の推進を求めました。

付託委員会の審査報告

令和7年2月定例会では、各常任委員会において、執行部から提出された議案32件の審査を行いました。その中から主な内容、質疑、答弁をお知らせします。

総務常任委員会

総務常任委員会では13議案を審査し、うち議案第35号、議案第36号及び議案第38号の3議案については、観光産業常任委員会との連合審査を行い、議案第37議案については、民生教育常任委員会との連合審査を行いました。いずれも質疑なしで、原案可決となりました。

民生教育常任委員会

議案第27号「日光市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

- 問 改正前の条文には、『許可申請を行う事業者は周辺住民等に対して当該事業について説明会を開催しなければならない。住民は事業者に対して意見を申し出ることができる。事業者はその協議結果を市長へ届け出る。』と規定されていたが、改正案では簡易的な内容になっており、後退しているように見えるが、住民に対する対応はどのようになるのか伺う。
- 答 改正案では簡易的な内容になっているが、届出の対象となる面積や県外からの土砂の持込禁止等に変更していない。市でも注視しながら対応を行う。



観光産業常任委員会

議案第25号「日光市庚申山荘条例の一部を改正する条例の制定について」

- 問 庚申山荘について、観光宿泊施設から休憩施設及び避難所に改めるとのことだが、本改正を行う理由について伺う。
- 答 庚申山荘は建築から37年が経過しており、老朽化により令和6年度に改修工事を予定していた。施設を精査したところ、宿泊施設としての旅館業を営む要件を満たしていない部分があることが判明した。そのため、旅館業法に適用させるための改修なども検討したが、適用条件が難しいとの判断により、現状の建物を維持管理するための改修を行い、宿泊施設としてではなく休憩施設及び避難所として活用することとした。
- 問 庚申山荘は築37年が経過しているとのことだが、今後、休憩施設及び避難所として使用する際の安全性の確保について伺う。
- 答 宿泊施設としての改修までは行わないが、維持管理するために危険な箇所の改修を令和7年度に行う予定となっている。また、自然災害等による事故など、不測の事態が生じた場合には、市の総合保険にて保障対応を行うことを想定している。



今回がポイント
今回は、保育園の将来に明るい未来を!! いただきました。
若年性認知症に悩んでいる方に、愛の手を!!



武田 幸雄 議員
(公明クラブ)



- 質問事項
- ① 保育園について
 - ② アレルギー対応の幼保小連携について
 - ③ 若年性認知症対策について
 - ④ カスタマーハラスメントについて

予算審査特別委員会 審査報告

市の令和7年度一般会計予算 470億7,000万円

日光市は、令和7年度の予算編成において、第2次日光市総合計画後期基本計画に掲げた重点プロジェクトや重要施策を着実に実施することで、地域経済の活性化や市民生活を守るとともに、物価高騰対策にしっかりと取り組むといたしました。また、賃上げや物価高騰の影響から人件費、物件費などの経常経費が大きく膨張する大変厳しい財政状況の中、必要な予算を確保するため、こうした事態に備えて積み立てている基金を有効活用することで、この難局を乗り越え、次期総合計画につないでいく予算としました。

一般会計予算は、前年度比3.0パーセント増の470億7,000万円、前年度比2.2パーセントの減となった特別会計や、前年度比1.5パーセントの減となった企業会計を合わせた予算総額739億2,409万5千円が計上されました。

予算審査特別委員会では、令和7年度一般会計予算ほか予算関連10議案について5日間の日程で審査を行いました。審査では、一般会計、特別会計及び企業会計合わせて123件の活発な質疑が行われ、採決の結果、すべて原案のとおり可決し、3月24日の本会議に報告しました。

委員会での一般会計歳入及び歳出の主な質疑と答弁についてお知らせいたします。

◎一般会計歳入

【市税の傾向から推測する経済動向について】

問 市税全体では直近の6号補正と比較し約4億2千万円増を見込み、市民税のうち個人の伸びが大きな要因とのことであるが、令和7年度における日光市の経済動向について伺う。

答 入湯税の傾向から推測すると、ここ数年増加傾向にあることや、収益の伸びている旅館ホテル等があることから、観光業については上向きと考える。しかし、物価高騰、賃金上昇に伴う経費の増加、人員不足など懸念材料があることから、いまだ不透明な状況にあると考えている。

【基金の状況について】

問 大変厳しい財政状況の中で必要な予算を確保するために各基金を活用しているが、これだけ多くの基金を一度に取り崩しての予算編成は、これまであまりなかったのではないかと思う。多くの基金を繰り入れての予算編成となった理由を伺う。

答 一般会計における基金繰入額は約32億9,000万円となり、合併後最高額となった。その理由は、厳しい財政状況においても市民サービスの低下を招かないため、また、将来のランニングコスト低減のための公共施設マネジメントの取組や、地域振興、物価高騰対策の財源とするため基金を活用した。予算の執行においては、事業費の精査等により繰入額の圧縮に努めていきたい。

◎一般会計歳出

・総務分科会

【シティプロモーション事業費について】

問 令和4年度からの3年間でおおよそ5,500万円の事業であり、令和7年度は2,000万円ほどの事業になる。この3年間の実績を踏まえた進捗状況と令和7年度の目標について伺う。

答 「NEW DAY,NEW LIGHT.」は、認知拡大が必要であることから、市民とともに発信するため日光隠れすぎ遺産を実施し、小中学生の参加や、U字工事によるYouTubeチャンネル配信、「もんみや」での50ページにわたる特集記事等、多くの方から評価をいただいている。「CHOCOTTO NIKKO」は参加店舗も増えてきており、一つ一つのプロジェクトは一定の効果が出ていると認識している。全体的な効果については、令和7年度に予定しているマーケティング調査の中で、認知度、魅力度などの調査を実施していく。

【消防団運営費について】

問 消防団パワハラ予防研修会業務委託費について伺う。

答 消防団幹部の部長以上156名を対象としている。実施の経緯は、令和5年度に40歳以下の若手消防団員に対し、団員を増やすことを目的にアンケート調査を行った際、飲み会や行事における参加の強要などについての不満の声が寄せられた。その結果を消防団の幹部に開示したところ、パワハラ予防研修会の開催について打診があったことから開催することとした。

・民生教育分科会

【保育園運営費について】

- 問 新規事業の完全給食事業について、公立と民間の状況や料金、実施時期等について伺う。
- 答 令和7年度上半期に環境を整え、10月から公立すべての園で開始予定である。民間では、市内で給食を提供している15施設のうち6施設が実施しており、料金は施設により一人月額500円から3,000円程度である。市が行うにあたっては、民間の金額との整合性や物価高騰も見据えて一人月額1,000円とする。

【学校教育支援事業費について】

- 問 チーム担任制を導入するにあたり想定される課題について伺う。
- 答 複数のクラスを担当することになるため、時間割の調整や年間指導計画において、これまでと違った形で対応することによる教員の負担が想定される。また、児童と保護者にとっては、担任が複数になることで戸惑うことがあるかもしれない。しかし、担任が複数となることで柔軟な対応ができると想定されるため、制度を周知しながら取り組んでいきたい。

・観光産業分科会

【地場産業振興費について】

- 問 見本市出展業務委託費の具体的委託内容について伺う。
- 答 伝統工芸の日光彫について、令和6年度に八王子市での記念式典や外務省との共催イベントで実施した体験教室が非常に盛況であり、購買の問い合わせも多かったため、日光彫の魅力発信と販路拡大を目的に、体験と販売をセットにした首都圏における見本市等への出展を検討している。

【観光宣伝費について】

- 問 ナイトタイムコンテンツ創出促進事業費補助金について、補助を行うことで具体的にどのような事業が造成されると想定しているのか伺う。
- 答 夜の街歩きや飲食を楽しむガイド付きツアーや早朝ハイキングツアー、静かな夜間に職人を行う伝統工芸体験プラン、早朝や夜間の世界遺産散策プラン等を想定している。当市の観光における課題として、着地型ツアー等のコンテンツ不足があり、例示をもとに民間企業でイメージを膨らませてツアーの造成を行ってほしいと考えている。

予算審査特別委員会

予算審査特別委員会において、令和6年度一般会計補正予算（第6号）について審議し、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算（第6号）の概要

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億6,500万円を減額し、予算総額を482億600万円とするもの。

《主な内容》

- 民間保育園等運営費（109,492千円）
人事院勧告を踏まえた人件費単価の改定に伴い、給付費が増額となることから、委託料等を増額する。
- ふるさと日光応援基金積立金（147,000千円）
ふるさと日光応援寄付金の増額に合わせ、基金積立金を増額する。
- ふるさと日光応援事業費（147,000千円）
ふるさと日光応援寄付金の増額に伴い、返礼品や事務経費などに要する費用を増額する。
- 脱炭素先行地域推進事業費（人件費を除く）（△572,993千円）
再生可能エネルギー設備導入費補助金等の不用額を減額する。



主な質疑と答弁

【児童福祉施設費について】

- 問 民間保育園等運営費が増額となった要因について伺う。
- 答 人事院勧告に伴い、約9～10%程度、公定価格の単価設定が見直されたことによる増額である。
- 問 職員一人当たりどのくらいの影響があるのか、また、遡って対象となるのか伺う。
- 答 一人当たり、月3万円強の増額となり、遡って対象となる。

総務常任委員会 活動報告

総務常任委員会は、10月28日から30日の日程で実施した行政視察における執行部との意見交換会を行いました。

三島市については、避難所運営マニュアルや多種多様な訓練、さらには地区防災計画の策定などの先進的事例を参考に、調査研究に注力したいとのコメントをいただきました。

亀山市・犬山市に関しては、執行部から企画総務部長・総務課長に同行していただきましたので、災害時のペット対策や情報伝達手段、災害井戸登録についての説明を基に、互いの感想を中心に意見交換を行いました。市内にケーブルテレビやコミュニティFM等、公共的に情報発信ができる機能があることなど、民間企業や市民の皆さんとのさらなる合意形成が重要であることが共有できました。

また、所管事務調査「防災・減災対策について」の調査・研究の一環で「能登半島地震応援派遣職員との意見交換会」を開催いたしました。日光市からは24名の職員が派遣されましたが、今回はその中から9名の職員の方々と意見交換を行いました。

過酷な状況の中で活動された話は、インフラ整備や給水の問題、防犯対策、避難所の健康管理まで多岐にわたりました。それぞれが与えられた職務を全うし活躍された経験を、今後の当市の防災・減災対策に役立てて欲しいと思います。

当委員会では、いつ発生するかわからない災害に備え、当市の現状と課題を捉え、制度や計画について今後も必要な調査・研究を行ってまいります。

(川島憲朗 副委員長)



能登半島地震応援派遣職員との意見交換会



執行部との意見交換の様子

民生教育常任委員会 活動報告

民生教育常任委員会では、昨年10月15日から10月17日まで行った行政視察の調査を踏まえ、2月7日(金)に執行部との意見交換(視察報告)を行いました。

まず、愛知県北名古屋市の「学校運営協議会」についての視察報告を行い、意見交換を行いました。委員からは、地域住民の理解や多く参加を得て、そのことを継承してほしいとの意見がありました。また、執行部からは、当市においては学校運営協議会が立ち上がって間もないので、この北名古屋市の取組を参考により良い学校運営協議会になるよう今後取り組んでいくとのことでした。

次に「通所サービス」については、三重県伊勢市、岐阜県各務原市の取組について報告を行い、意見交換を行いました。委員からは、今後ますます日光市においても人口減少や高齢化社会が進んでいくと思われるため、自ら移動することのできない高齢者の対応をしっかりと構築し、安心して住み続けられるまちをつくっていかねければならないとの意見がありました。執行部からは、当市においてもそのことは課題であると捉えており、その問題の解決に向け、伊勢市・各務原市の取組を参考に取組んでいくとのことでした。

当委員会では、今回の意見交換の結果を踏まえ、引き続き所管事務調査事項の調査・研究を行い、日光市の施策に反映できるように取組んでまいります。

(斎藤久幸 委員)



執行部との意見交換の様子



観光産業常任委員会 活動報告

当委員会は3月10日に所管事務調査事項である「まちづくりについて」日光市建設業組合と左記の事項について意見交換会を行いました。

- 1 日光市全体または居住している地区等では、今後どのような特徴を伸ばし、どのようなまちにしていくと良いと思うか。
- 2 中心市街地の活性化のために、どのような施設がまちの中で必要であると考ええるか。
- 3 「道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣」を今後どのように活用すべきと考えるか。
- 4 まちなかを歩きたくなる・歩いてもらうまちづくりのためには、どのような取組や施設が必要だと思うか。
- 5 市民がまちづくりに積極的に参加できるようにするためにはどのような取組が必要だと思うか。

出席いただく組合員の皆様方には、それぞれの項目ごとに考え、ご意見をお願いしたい旨を事前にお伝えさせていただいた事もあり、積極的な考え・ご意見を伺う事ができ、課題や問題点について解決方法などを一緒に考える事ができました。

特に、今後用途変更が可能となる中心市街地集客施設「ニコニコ本陣」について、お子さんが気兼ねなく遊べる場所として活用したり、高校生などが自由に過ごせる場所が少ないため放課後や休日に集まれる居場所として利用できる良いといったご意見をいただき、貴重な意義ある意見交換となりました。

日光市建設業組合の皆様には大変お忙しい中、貴重なお時間をいただき深く感謝申し上げます。

今後、当委員会は引き続き「まちづくり」についての課題の整理を行い、課題解決に向けて調査研究を行ってまいります。

(生井一郎 副委員長)



建設業組合との意見交換の様子

議会運営委員会 活動報告

議会運営委員会では、議会改革の一環として、令和6年12月定例会より議場等への私有パソコンの持ち込みを可能とするともに、本庁舎1階ロビーにおいて一般質問等の生中継を行う予定です。また、議長から諮問された事項について引き続き協議検討を行う予定です。タブレットの更新については、事前に議員全員にアンケートを実施し、なおかつ各会派からの意見を聴取し、現在使用しているタブレットの改善点や継続する項目などについて、検討してまいりました。また、一般質問に関しては、県内他市の事例を参考にしながらも、各会派の意見を聞きながら、議会内規について、さらに議論を重ねた結果、議会選出の監査委員に關しては、監査委員として職務上知り得た秘密に該当する事項等以外については、事前に議長の許可を得た上で一般質問を行えることといたしました。議会運営委員会の正副委員長については、委員長は今までもどおり自粛とし、副委員長については制限を設けないことといたしました。

今定例会においては、議員議案第1号を提出したほか、陳情や日程の審査等、各委員慎重に審査いたしました。

また、議会基本条例に基づいた議会運営が達成されているか、議会改革が継続されているかを毎年定期的に検証しておりますが、おのおの意見が出されまいた。

今後も議会運営にあたり、開かれた議会を目指し真剣に取り組んでまいります。

(大島浩 副委員長)



本庁舎1階ロビーでの生中継の様子



令和6年度 行政調査特別委員会 視察実施報告

班	日 程	視 察 先	視 察 内 容	班 員
1	7月23日(火) ～25日(木) 【2泊3日】	岐阜県下呂市	DX推進について	◎齋藤 久幸 ○川村 寿利 青田 兆史 大島 浩
		岐阜県中津川市	廃校になった校舎の取組について	
		岐阜県関市	LGBTフレンドリーに関する取組について	
2	7月22日(月) ～24日(水) 【2泊3日】	佐賀県鳥栖市	鳥栖市における企業誘致について	◎川島 憲朗 ○亀井 崇幸 筒井 巖 齋藤 伸幸 三好 國章
		福岡県糸島市	糸島市における移住定住促進について	
		福岡県大野城市	総合型行政評価システム（公共サービス DOCK 事業）について	
3	7月22日(月) ～25日(木) 【3泊4日】	埼玉県幸手市	子ども議会について	◎嶋田 正法 ○武田 幸雄 荒川 礼子
		三重県桑名市	コラボ・ラボ桑名について	
		愛知県豊田市	空飛ぶクルマについて	
		愛知県蒲郡市	粗大ごみ等のメルカリ出品について	
4	7月23日(火) ～26日(金) 【3泊4日】	東京都豊島区	子どもと女性にやさしいまちづくりについて	◎瀬高 哲雄 ○和田 公伸 山越 梯一 生井 一郎 田村 耕作
		愛知県豊田市	人工衛星とAI活用について（水道管の漏水調査）	
		愛知県豊橋市	バイオマス資源利活用施設について	
		静岡県熱海市	観光振興施策全般について	
5	7月17日(水) ～19日(金) 【2泊3日】	石川県小松市	・ジビエ利用モデル地区の取組について ・有害鳥獣対策について	◎高見 尚希 ○村上 正明 齊藤 正三 齋藤 宏明
		滋賀県近江八幡市	子ども・若者支援事業について	
		滋賀県彦根市	・観光施策の取組について ・映像資源を活用した映像作品の撮影等の誘致について	
	12月18日(水) ～19日(木) 【1泊2日】	神奈川県横須賀市	・民官連携推進事業について	
		神奈川県葉山町	はやまエシカルアクションについて	
6	10月8日(火) ～9日(水) 【1泊2日】	埼玉県飯能市	・聴覚障害等のある方への窓口支援・代理電話支援について ・えんかく+について	◎福田 悦子
		新潟県見附市	健康長寿をテーマとしたまちづくりについて	

◎：班長
○：副班長

視察報告書は、日光市議会のホームページに掲載しています。
ホームページをご覧いただけない場合、議会事務局で閲覧することができます。

視察報告書



令和6年度議会報告会

令和6年度議会報告会は、希望のあった5つの中学校の3年生を対象に実施しました。今号では、1月に実施した今市中学校での議会報告会について、お知らせします。
テーマ…「日光市の予算を使い、人口を増加させる取組みを市に提案してください」

令和7年1月29日、日光市議会は今市中学校で議会報告会を実施しました。議員の職務や議会の役割を説明した後、生徒たちに「日光市の予算を活用した人口増加策」を考えてもらいました。商業施設の誘致、子育て支援、移住促進策など多様な提案が寄せられ、現実的な課題を踏まえた意見も見受けられました。市議会は、将来を担う子どもたちの声を尊重し、人口減少対策や財政の効率化に努め、持続可能な日光市の実現に向けて取り組んでまいります。（広報広聴委員会 嶋田正法副委員長）

中学生からの感想

- 議会報告会で日光市のことをもう一度、よく考えることができました。グループで日光市の改善すべき点を話し合ったりして、まとめて、発表することができました。考えている間も議員さんが真剣にメモ用紙を見てくれたり、アドバイスをくれたりしてくれて考えやすかったです。日光市をより良くするためのお金の使い方を考えるのは難しかったけど、どの班の意見もいいものばかりでよく勉強になりました。とても貴重な時間になりました。(K・Y)
- 先日の議会報告会では、地域の課題や議会での議論内容について学びました。特に、議員の方々がどのように地域の問題を解決しようと努力しているのかを知ることができ、とても印象に残りました。また、自分たちの意見や考えが実際の議会にどのように反映されるのかを理解することができ、政治に対する関心が深まりました。質疑応答の時間では、参加者の質問が活発で、より具体的な問題解決へのアプローチを考える良い機会となりました。(S・Y)
- 議会報告会で自分で日光市をよりよくするための政策を考え、グループの人と意見を交流して意見をまとめ、全体に発表することができた。しかし、中には実現が厳しいものもあり、現実的なもの考えるのが難しかった。私は、教育や子育ての補助に力を入れるといいのではないかと考えた。これからも日光市をよりよくするために自分には何ができるのかよく考え、自分たちで日光市をつくっていきたいと思った。この活動を通して市議会議員になりたいと思った。(O・B)



- 僕は議会報告会に参加するまでは、普段払っている消費税や親が払っている税金はどのように使われているのかを詳しくは知りませんでした。しかし、今回の報告会を通して、税金は日光市民のサービスを充実させるほか、日光市の安全を保つために道路の修復などを主に行なっているということを知りました。また、僕たちが学校へ行けるのは、税金のおかげだということも改めて知れて、普段の生活と税金との関わりを深く考えることのできた、よい経験になったと思います。(S・Y)
- 議員さんに直接意見を言うことができることはなかなかない機会なので、議会報告会を機に日光市のこれからの未来や日光市をより良くするためにはどうしたら良いのかを改めて真剣に考えることができました。議員さんが用語を簡単に説明してくれたり、曖昧に書いてある部分を指摘して質問してくれたりしたので自分の考えを深めることもできました。一人一人の意見を真剣に聞いてくれたこともあり、議員さんの信頼感が高まりました。(F・A)

・総務常任委員会・

- ▶ 2月 7日 執行部との意見交換（視察報告）について他
- ▶ 2月 21日 付託議案審査（民生教育常任委員会との連合審査）
- ▶ 2月 21日 付託議案審査（観光産業常任委員会との連合審査）
- ▶ 2月 21日 付託議案審査他

・民生教育常任委員会・

- ▶ 1月 29日 執行部との意見交換（視察報告）の日程について
- ▶ 2月 7日 執行部との意見交換（視察報告）について
- ▶ 2月 26日 付託議案審査
- ▶ 3月 13日 付託議案審査他
- ▶ 3月 27日 日光市障がい者の会との意見交換会について

・観光産業常任委員会・

- ▶ 2月 12日 執行部との意見交換（視察報告）の日程について

- ▶ 2月 27日 付託議案審査他
- ▶ 3月 10日 日光市建設業組合との意見交換「まちづくりについて」
- ▶ 3月 24日 議会と協議したい重要案件「脱炭素先行地域の事業進捗について」

・議会運営委員会・

- ▶ 1月 10日 一般質問について
- ▶ 1月 15日 一般質問について他
- ▶ 2月 4日 令和7年2月定例会について（陳情等）他
- ▶ 2月 7日 令和7年2月定例会について（会期日程等）
- ▶ 3月 4日 令和7年2月定例会について（日程追加）他

・議員全員協議会・

- ▶ 1月 17日 令和7年度組織機構について他
- ▶ 2月 7日 令和7年2月定例会提出予定案件について他

- ▶ 3月 4日 令和7年2月定例会提出予定追加案件について
- ▶ 3月 24日 市制施行20周年記念事業について他

・広報広聴委員会・

- ▶ 1月 10日 1月25日発行広報紙について他
- ▶ 2月 28日 4月25日発行広報紙について他

・公共施設等あり方検討調査特別委員会・

- ▶ 3月 7日 新文化会館の整備について他

・行政調査特別委員会・

- ▶ 3月 24日 令和6年度行政視察の結果について

表紙の写真を募集しています

日光市議会では、広報紙「市議会からこんにちは」の表紙写真を募集しています。日光市の素敵な場所、お気に入りのスポット、頑張っている人などを紹介してください。市内在住・在勤・在学の皆様からのご応募をお待ちしております。

次号（7月25日発行予定）の応募締切は5月31日です。

応募方法等詳しくは、日光市議会ホームページをご覧ください。くか、議会事務局までお問い合わせください。



編集後記

令和7年度も幕が開けました！山の景色も新緑が目立ち心身ともに清々しい季節を迎えられたことと思います。4月から新生活がスタートされた方は、早く慣れ、楽しくワクワクするような生活になることを祈念申し上げます。

当市も急速に少子化が進み小中学校の適正配置により小来川小中学校が、それぞれ今市第三小学校、東原中学校へ統合されました。また、日光中学校と東中学校が統合され、新生日光中学校が開校しました。早く学校に慣れ、たくさんの方の友人を作り楽しい学校生活を送ってください。

4月7日より日光版図柄入りナンバープレートの事前申込が開始されました。市民のみならずも日光ナンバーに変更して当市を全国にPRしてみたいかがでしょうか？

我々議員は、これからも市民のみなさんの声を市政に届け、お役に立てるよう責任を持って行動しなければいけません。市民のみなさんに読みやすい議会だよりになりますよう心掛けてまいります。

令和7年度も市民のみなさんにとって素晴らしい一年になりますことを祈念申し上げます。
(広報広聴委員 青田兆史)